

令和8年度分

泉佐野市地方創生総合戦略

(第3期泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

PDCA サイクル 進捗管理シート

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	まちの活性課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり									
具体的施策	①地域産業の競争力強化									
事業名	エリアマネジメント活動推進事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	開業支援・創業支援・にぎわい創出を一体的に推進することにより、泉佐野市の中心市街地の価値向上と地域産業の活性化を図り、若者や女性にとって魅力ある環境を整えるもの。 中心市街地（南海泉佐野駅周辺）のエリアマネジメントを取り組むまちづくり会社と連携して、中心市街地の活性課につなげて行く。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 遊休不動産を活用して新たに事業を開始した件数								
		KPI： 5年後に64件（年10件の増加）								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	14件	24件	34件	44件	54件	64件	累計	
		実績値	14件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		空き店舗など遊休不動産の存在が中心市街地の魅力低下や回遊性の阻害要因となっており、この課題を解消することがまちの活性化に直結すると考えるため。				支援事業による過去5年間の事業開始件数の平均（8.6件）と、中心市街地エリアにある大幅な改修工事を要しない推定遊休不動産件数（約100件）のうち活用できるものを年間1割とした件数より設定。				
		②目標事項： 遊休不動産利活用セミナー・ワークショップ事業参加者数								
		KPI： 5年後に120名（年20名の参加）								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	20名	40名	60名	80名	100名	120名	累計	
		実績値	20名							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
セミナー・ワークショップの参加者数は、遊休不動産解消件数という主要KPIに直結する入口指標であり、開業支援・創業支援・エリアマネジメントの重要要素である。また、若者・女性をターゲットとしていることから事業方針とも整合した定量指標であると考えため。				補助事業による過去5年間のセミナー等参加者数平均（27名）を基に、空き店舗物件オーナーと参加者とのマッチング平均（2件）を1割とした参加者数を目標として設定。						
③目標事項： 来街者増加、滞在時間延長のためのにぎわいづくり事業（オープンマルシェ）参加者数										
KPI： 5年後に4,200人（年間200人の参加増）										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値	3,200人	3,400人	3,600人	3,800人	4,000人	4,200人	単年度計			
実績値	3,200人									
達成度	100.0%									
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
中心市街地の賑わい創出を直接的に測定できる指標であり、オープンマルシェは、開業や創業に関心がある参加者が多く含まれること、若者・女性の参加率が高いイベントであることから、事業方針とも整合した定量指標であると考えため。				人口10万人都市のイベント参加率は1～5%とのデータと、駅前広場の同時滞在、物理的収容力、回転率と過去8回の参加者数平均（1回につき800人）より算出。年間4回の開催で、事業の認知度向上と情報発信の効果を踏まえ、積み上げ方式で目標値を設定。						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	まちの活性課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり									
具体的施策	②就労支援									
事業名	労働対策事業									
事業概要	【最終予算額： 円】		【決算額： 円】							
	働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労支援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現に向けて支援をする。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数								
		KPI： 年間25人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	8人	25人	25人	25人	25人	25人	単年度計	
		実績値	8人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。				経済情勢の影響が大きいことから、俯瞰的に捉えることができるよう、第2期泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値を引き継ぐこととし、年間25人とする。				
		②目標事項： 自治体主体の公式求人サイトに登録した求職者のうち登録のあった事業所への就業件数								
		KPI： 5年後に23,088件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	7,013件	12,048件	14,808件	17,568件	20,328件	23,088件	累計	
		実績値	7,013件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
求職者と、人材確保や業務効率化を求める地域企業を繋ぎ、柔軟な働き方による眠れる労働力を掘り起こすことを目標に、当該成果指標とした。				令和5年10月より事業開始。各年度の単年における就業件数は、令和5年度（半年間）1,887件、令和6年度3,060件、令和7年度は2,760件を見込んでいる。この状況を踏まえ、令和8年度以降の目標値を2,760件とする。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値										
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②就労支援
事業名	中高年世代等オンライン就労支援事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	中高年齢層やひとり親等、就労に固有の課題を抱える個々人の状況に応じた正規就労をサポートするためのオンライン相談プラットフォームを構築し、キャリアカウンセリング、職業紹介・マッチング、定着支援、求人開拓を一体的に実施する。求職者・転職希望者が、家に居ながら、又は働きながらでも正規雇用やキャリアアップが行えるよう、時間と場所を問わないオンライン就労支援サービスを提供する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： LINE友だち登録者数																															
		KPI： 5年後に5,400件																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1,332件</td> <td>3,480件</td> <td>3,960件</td> <td>4,440件</td> <td>4,920件</td> <td>5,400件</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,332件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	1,332件	3,480件	3,960件	4,440件	4,920件	5,400件	累計	実績値	1,332件						達成度	100.0%					
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別			備考																					
		目標値	1,332件	3,480件	3,960件	4,440件	4,920件	5,400件		累計																							
		実績値	1,332件																														
		達成度	100.0%																														
		KPI設定の根拠	中高年齢層が利用しやすいSNSを利用し、気軽に登録できるLINE友だち登録者数から支援の必要者数を算出することができ、情報が届いていることも数値で確認できることから、効果測定指標として設定。																														
		KPI目標数値の積算根拠	先行自治体における事業開始後の実績を参考に設定。具体的には、ターゲット層（中高年世代及びひとり親の総数が約3万人）に対しLINE友だち登録数が最終的に約18%に到達していたことから、それを参考に設定。																														
		②目標事項： キャリア相談件数																															
		KPI： 5年後に162件																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>16件</td> <td>105件</td> <td>119件</td> <td>134件</td> <td>148件</td> <td>162件</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>16件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	16件	105件	119件	134件	148件	162件	累計	実績値	16件						達成度	100.0%					
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別			備考																					
		目標値	16件	105件	119件	134件	148件	162件		累計																							
		実績値	16件																														
達成度	100.0%																																
KPI設定の根拠	情報を受け取った方のうち、就労・転職を行動に移す意識をもっている人数を算出することができることから、効果測定指標として設定。																																
KPI目標数値の積算根拠	「就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査」より、不本意非正規雇用労働者のうち「現在求職活動はしていないが具体的に就職又は転職を考えている」が約10%、また、他市先行事例からKPI①×10%×30%を目標値と設定。																																
③目標事項： 就職決定者数																																	
KPI： 5年後に49件																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1件</td> <td>32件</td> <td>36件</td> <td>41件</td> <td>45件</td> <td>49件</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	1件	32件	36件	41件	45件	49件	累計	実績値	1件						達成度	100%							
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別			備考																							
目標値	1件	32件	36件	41件	45件	49件		累計																									
実績値	1件																																
達成度	100%																																
KPI設定の根拠	支援が就職に繋がったことを数値として確認できることから、効果測定指標として設定。																																
KPI目標数値の積算根拠	他市先行事例（相談件数の30%）を参考に算出。																																
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																																
	担当課評価																																
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																																
委員会意見	【評価等に対する意見】																																
	委員会評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	まちの活性課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり									
具体的施策	③人材育成・雇用機会の拡充									
事業名	外国人受入環境整備事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	市内在住する外国人材の労働環境及び日常生活における多文化共生社会の実現に向けたワンストップ相談窓口の設置、及び人材不足が喫緊の課題となっている業種への優良な外国人材の確保・育成を通じた雇用マッチング、地域社会の交流支援などを実施するもの。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 外国人就労者あっせん数								
		KPI： 5年後に70件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	23件	30件	40件	50件	60件	70件	累計	
		実績値	23件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		日常生活を安心して営むにおいて、外国人材の雇用を確保できたか判断するに当たっての指標と考えるため。				大阪労働局に設置されている紛争調整委員会のあっせん件数は、平成26年度445件から令和5年度265件と減少傾向にある。その一方、本市では令和6年度13件、令和7年度は12月末時点で10件とほぼ横ばいであることから、年間10件で設定。				
		②目標事項： 施設の利用者数								
		KPI： 5年後に17,300件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	4,949件	5,700件	8,600件	11,500件	14,400件	17,300件	累計	
		実績値	4,949件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
外国人材の相談者数は多文化共生社会の実現に向けた課題を早期発見する場所として、外国人材からの拠点の認知度と、外国人材の相談内容を通じて、必要な施策を展開や制度の創設が発掘でき、本事業の目的を達成するのに必要な指標であると考えため。				施設の利用状況は令和3年度の開設から令和6年度末までに約2,800人が利用。また、本市の外国人人口は令和2年度末では1,921人、令和6年度末では3,798人と増加している。令和7年度も12月末時点で既に2,148人が利用していることから、これを基に今後も年間約2,900人の利用で設定。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							累計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり	
具体的施策	④安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	幼児教育・保育	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	教育または保育を必要とする児童に対し、質の高い教育・保育を行い、待機児童数ゼロを堅持する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 待機児童数																											
		KPI： 毎年待機児童数0を堅持																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td rowspan="3">単年度計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	単年度計	実績値	0人					達成度	100.0%				
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別			備考																		
		目標値	0人	0人	0人	0人	0人		単年度計																				
		実績値	0人																										
		達成度	100.0%																										
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																										
		「第2期いずみさのこども未来総合計画」（令和7～11年度）に基づき、幼児教育・保育の「量的確保」（待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保等）及び「質の向上」（職員の配置及び処遇改善）を行い、子育て世帯がどこでも必要な時に利用できる子育てしやすい環境整備の指標となります。	待機児童数0を堅持																										
		②目標事項：																											
		KPI：																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">単年度計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	目標値						単年度計	実績値						達成度					
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別			備考																		
		目標値							単年度計																				
		実績値																											
達成度																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																												
③目標事項：																													
KPI：																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・ 累計の別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">単年度計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	目標値						単年度計	実績値						達成度							
現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別			備考																				
目標値							単年度計																						
実績値																													
達成度																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																												
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																												
	担当課 評価																												
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																												
委員会意見	【評価等に対する意見】																												
	委員会 評価																												

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり	
具体的施策	⑤児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	ICT活用教育推進事業	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】	
	市内小中学校にPC端末等の環境の整備を行うとともに、教職員がICT機器の特性を理解し、学校・家庭等において効果的に活用することができる環境をつくることで、子どもたちがよくわかる授業づくりと学力の定着・向上をめざす。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 学校・家庭等におけるPC端末の利用回数								
		KPI： 毎日、PC端末を利用している児童・生徒の割合								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	72.5%	78.0%	83.5%	89.0%	94.5%	100.0%	単年度計	
		実績値	72.5%							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		校内通信ネットワーク環境と1人1台端末の利用状況や市内統一アンケート等を把握することで、市内の小中学校におけるICT活用の推進、及び児童・生徒がわかる授業づくりと学力の定着・向上を図っているかの指標になると考えるため。				令和6年度、教員のICT活用指導力の実態調査における項目「学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能を児童生徒が身につけることができるよう指導できる」68.5%、を基準に設定した値				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	学校教育課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり									
具体的施策	⑤児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進									
事業名	泉佐野市の未来を創る教育事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、重点支援小学校への支援策として「学力向上アドバイザー」を配置するなど、市域全体の学力向上を図る。									
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 算数）平均正答率の差								
		KPI： 5年後に全国平均スコアとの差が30								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	6.0	3.1	60	50	40	30	単年度計	令和9年度より全国学力・学習状況調査の実施方法及び算出方法が変更となる
		実績値	6.0							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		全国学力・学習状況調査（小学校 算数）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の算数の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。				令和9年度の尺度得点導入に伴い目標値を再設定。新指標下で年次10点ずつの段階的改善を図り、令和10年度でスコアの差が50、令和15年度には0になる設定。				
		②目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 国語）平均正答率の差								
		KPI： 5年後に全国平均スコアとの差が30								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	5.2	3.7	60	50	40	30	単年度計	令和9年度より全国学力・学習状況調査の実施方法及び算出方法が変更となる
		実績値	5.2							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
全国学力・学習状況調査（小学校 国語）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の国語の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。				令和9年度の尺度得点導入に伴い目標値を再設定。新指標下で年次10点ずつの段階的改善を図り、令和10年度でスコアの差が50、令和15年度には0になる設定。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	学校教育課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり									
具体的施策	⑤児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進									
事業名	家庭への支援事業（スクールカウンセラー等による相談）									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図るため、スクールカウンセラーを教育支援センター「さわやかルーム」「シャイン」に1名ずつ、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置する。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合								
		KPI： 不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合20%を下回らせる								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	30%	28%	26%	24%	22%	20%	単年度計	
		実績値	30%							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		令和6年度、本市の小中学生の不登校児童・生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合は36.3%、全国では38.3%である。本市の状況は全国に比べて低い値となっている。全国・府共にこの割合の低下を目標として取り組んでおり、本市においても同様である。そのため、本事業を進め、令和12年度に20%を下回れるように目標を設定する。				令和6年度、不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合 本市：36.3% 全国：38.3% 毎年、2%ずつ減少させる。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	生涯学習課
----------	-----	-------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑤児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	地域の情報拠点として図書館機能の充実
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 様々なイベントを企画し魅力ある図書館運営に努めていくと同時に、図書館本来の目的として、地域住民に求められる資料の充実と資料を必要とする人に的確に提供できるように努めていきます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 図書館蔵書指数									
		KPI： 5年後に679,000冊									
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	
		目標値	654,000冊	659,000冊	664,000冊	669,000冊	674,000冊	679,000冊	単年度計		
		実績値	654,000冊								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、地域の情報拠点として、図書館が提供可能で、かつ、市民が求める資料・情報の収集が進んでいるか、図書館機能の充実に努めているかの指標となります。					令和7年度の実績値から起算した毎年5,000冊ずつ増加を目標として設定した結果の値				
		②目標事項： 年間個人貸出点数									
		KPI： 5年後に535,500点									
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	
		目標値	485,000点	494,700点	504,600点	514,700点	525,000点	535,500点	単年度計		
		実績値	485,000点								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているかの指標となります。					令和7年度の実績値から、毎年2%前後の増加を目標として設定した結果の値						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考			
目標値							単年度計				
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】										
	担当課 評価										
改善（A）	【次年度における改善の取組など】										
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	政策推進課							
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり									
具体的施策	⑥ 出会い・結婚の支援									
事業名	泉佐野市結婚新生活支援事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	結婚の希望を叶えるために、新婚世代の住居費及び引越し費用を支援することにより、結婚に伴う経済的不安を軽減する。									
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	① 目標事項： 結婚新生活支援事業補助金交付件数								
		KPI： 年間35件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	35件	35件	35件	35件	35件	35件	単年度計	
		実績値	35件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		事業の目的である新婚世帯への経済的不安の軽減の達成度について、補助金の交付件数により測る。				実績値から予算要求時の件数を基にし、毎年35件とする。				
		② 目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③ 目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	政策推進課																																
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生																																	
基本的方向	若者や女性に選ばれるまちづくり																																	
具体的施策	⑥ 出会い・結婚の支援																																	
事業名	出会いの機会創出事業																																	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】																																	
	結婚を希望する若い世代を対象とした婚活等のイベント開催を行い、出会いの場を提供する。																																	
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	① 目標事項： 婚活イベント参加者の満足度																																
		KPI： 毎回90%以上																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>92%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>92%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	92%	90%	90%	90%	90%	90%	単年度計		実績値	92%						達成度	100.0%					
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																								
		目標値	92%	90%	90%	90%	90%	90%	単年度計																									
		実績値	92%																															
		達成度	100.0%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		趣旨に沿った開催内容であったかを、参加者の満足度によって測る。	婚活イベント参加者のアンケート結果の満足度（非常に満足、満足の割合）																															
		② 目標事項： マッチングサイトのお見合い件数																																
		KPI： 5年後に年間60件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>40件</td> <td>44件</td> <td>48件</td> <td>52件</td> <td>56件</td> <td>60件</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>40件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	40件	44件	48件	52件	56件	60件	単年度計		実績値	40件						達成度	100.0%					
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																										
目標値	40件	44件	48件	52件	56件	60件	単年度計																											
実績値	40件																																	
達成度	100.0%																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
マッチング数により、サイトの活用状況や登録者の満足度が把握できる。	年間のお見合い目標件数（1か月5件として計算）																																	
③ 目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値							単年度計		実績値							達成度								
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																										
目標値							単年度計																											
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																																	
	担当課評価																																	
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																																	
委員会意見	【評価等に対する意見】																																	
	委員会評価																																	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	道路公園課
----------	-----	-------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑦交通ネットワークの整備	
事業名	コミュニティバス無料化事業	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	地域の生活拠点を運行するコミュニティバスの無料化を継続することで、地域の公共交通網による移動手段の維持・確保を図り、交通弱者が容易に移動でき、社会参加等を促進するとともに、通勤・通学等の経費減による転入促進を図ります。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： コミュニティバスの年間利用者数（人）								
		KPI： 5年後に219,800人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	189,768人	195,400人	201,200人	207,200人	213,400人	219,800人	単年度計	
		実績値	189,768人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		運賃無料のコミュニティバスの利用向上は、高齢者や子育て世代の安全な移動支援や、通勤・通学・通院経費の軽減による住みやすさの向上、定住・転入促進につながると考え設定の根拠とした。				高齢化の進捗を背景に運賃無料の経済的な移動手段として、子育て世代等からの需要増も含め、年3%（100人未満切捨て）の利用者数増加と設定した。				
		②目標事項： 観光周遊バスの年間利用者数（人）								
		KPI： 5年後に10,500人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	8,412人	8,800人	9,200人	9,600人	10,000人	10,500人	単年度計	
		実績値	8,412人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
運賃無料の観光周遊バスの利用向上は、国内外からの観光客の周遊性を高めることで、地域経済の拡大に連動すると考え設定の根拠とした。				日・祝日のみの運行であるが、運賃無料の継続化とともに、利便性・周遊性を高め、周知を行うなどの利用促進を図り、年5%（100人未満切捨て）の利用者数増加と設定した。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						

評価（C）	【今年度において評価した取組など】	
	担当課評価	

改善（A）	【次年度における改善の取組など】	

委員会意見	【評価等に対する意見】	
	委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	危機管理課
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑧市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	泉佐野市大防災訓練	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	11月第一日曜日の「市民防災の日」に市域全体で地域の自主防災組織を主体とした大防災訓練を実施する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 大防災訓練参加人数								
		KPI： 5年後に3,320人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	3,133人	3,200人	3,230人	3,260人	3,290人	3,320人	単年度計	
		実績値	3,133人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		防災訓練参加人数の増加から、地域を主体とした訓練の進展度を測ることができるため。				前回の南海トラフ地震が発生してから80年が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生切迫性が高い状態であることや、防災に対する市民の意識の高まりを踏まえて、目標値を算出したもの。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	危機管理課
----------	-----	-------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑧市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	地域防災の担い手の確保	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	災害等に関する正確な知識を取得し、地域における防災・減災リーダーの育成を図るため、防災士資格取得研修を実施する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災士の資格取得人数（累計）								
		KPI： 5年後に974人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	848人	898人	948人	998人	1,048人	1,098人	累計	
		実績値	848人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		防災士資格取得者数を、地域防災の担い手の育成状況を測る指標とする。				受講者が例年同水準にて推移していることから、毎年度50人増加する目標値を設定。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							累計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
目標値							累計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	地域共生推進課・危機管理課
----------	-----	---------------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生	
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	⑧市民が地域防災の担い手となる環境の確保	
事業名	地域の絆づくり登録制度	
事業概要	【最終予算額： 円】	【決算額： 円】
	災害時の避難に不安がある方（避難行動要支援者）に、あらかじめ市に登録していただき、地域の支援団体（自主防災組織）や関係機関（警察・消防・社会福祉協議会<左記3機関とは協定締結済>）とその情報を共有し、平常時の見守りや災害が発生したときの避難支援活動、安否確認に役立てる。 対象者の抽出、登録届出書兼同意書の送付及び同意者の登録を地域共生推進課にて行い、登録情報の提供に関わる協定の締結と各機関への避難行動要支援者名簿の提供事務を危機管理課が行う。また、発災時には迅速かつ適切な避難支援活動を実施する必要があることから、個別計画の作成を支援団体は名簿をもとに社会福祉協議会と連携して作成する。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 避難行動要支援対象者の同意・不同意確認者数割合							
		KPI： 5年後に87%							
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	82%	83%	84%	85%	86%		
		実績値	82%						累計
		達成度	100.0%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠			
		市・社協及び自主防災組織が連携し、当事業を引き続き周知を図り、入れ替わりの激しい避難行動要支援者となり得る者の意思確認をいかに進めていけるかの指標となる。				達成の為の取り組みによる伸びが順調なため、目標値の伸び率を継続			
		②目標事項： 自主防災組織との協定締結率							
		KPI： 全ての自主防災組織と早期に協定を締結し継続する。							
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	69%	70%	71%	72%	73%		
		実績値	69%						累計
		達成度	100.0%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠			
地域における災害時の避難支援活動、安否確認に役立てる名簿の提供状況を把握することにより取り組みの進捗を確認する。				協定未締結の自主防災組織との協議を進め、毎年度、着実に協定締結団体数を増やすことを目標として設定した値					
③目標事項：									
KPI：									
現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値									
実績値						累計			
達成度									
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
【今年度において評価した取組など】									
評価（C）	担当課評価								
改善（A）	【次年度における改善の取組など】								
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課		健康推進課						
基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生									
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり									
具体的施策	⑨高齢者の健康づくり									
事業名	健康マイレージ事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診など、健康づくりへの取り組みに対し、「さの健康ポイント」の付与を行い、健康づくりへの積極的な参加促進を図ることを目標にしている。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 健康マイレージの参加者数								
		KPI： 5年後に10,121人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	8,730人	8,992人	9,262人	9,540人	9,826人	10,121人	単年度計	
		実績値	8,730人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		健康マイレージの交換者数により、健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診率の向上など、健康づくりへの関心度がわかる。				令和7年度の実績見込み値から年間3%（初心者サポート会参加者数）の参加者数の増を目標とした。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	自治振興課
----------	-----	-------

基本目標	① 安心して働き、暮らせる泉佐野の生活環境の創生
基本的方向	安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	⑩地域づくり
事業名	町会連合会の加入促進事業への補助金
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	町会連合会が主体的に実施する加入促進事業のうち、町会連合会を構成する町会等が、その加入世帯に配布する町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）を調達（製作・保管・配送）する事業に対し補助金を交付することにより、加入率向上に寄与することを目的とする事業。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 町会加入率									
		KPI： 5年後に53.4%									
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	
		目標値	50.9%	51.4%	51.9%	52.4%	52.9%	53.4%			
		実績値	50.9%						累計		
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		町会連合会による加入促進事業の成果を測る指標である。					近年、定住に繋がらない単身世帯の増加等を要因として、町会加入率は下落傾向にあるが、補助金の交付その他の支援を継続することにより、毎年0.5%程度の向上を期待するもの。				
		②目標事項：		KPI：							
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：		KPI：							
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・ 累計の別	備考	
		目標値									
		実績値									
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】										
	担当課 評価										
改善（A）	【次年度における改善の取組など】										
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課		農林水産課						
基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生									
基本的方向	地域資源の高付加価値化									
具体的施策	①地域資源を活かした産業振興と創業支援									
事業名	泉佐野産（もん）普及促進事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを基に、6次産業化に資するレシピを商品化し、地場野菜のブランド化と6次産業化の促進を行う。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 農商工連携または6次産業化に取り組む企業・団体・農業者数								
		KPI： 5年間で11者へ増加								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	9者	10者	10者	10者	11者	11者	単年度計	
		実績値	9者							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		この数値の把握により、市域で生産された農林水産物の販売ルートや販売量の拡大につながる動きが進展し、地産地消の関心の高まりを示す指標となると考えられるため				事業で当市産を使ったメニューを開発し、公表することで市内外の飲食店での活用を促し、さらなる農商工連携を図る。連携はこの5年間で2者の増加が予想されるため目標とした。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
基本的方向	地域資源の高付加価値化
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	観光振興事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	訪日外国人旅行者に対する受入環境整備や地域の伝統文化の継承、市民団体等の主催イベントへの支援、公式キャラクターによるシティプロモーション、広域連携による誘客推進など、関空の対岸という地理的優位性と交通利便性の強みを活かしたエリアの魅力創出あるいは周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化を図ることで、国内外からのさらなる誘客を促進し、観光関連産業の活性化に取り組む。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 市内の年間延べ宿泊者数									
		KPI： 5年後に198万人/年									
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	
		目標値	148万人	158万人	168万人	178万人	188万人	198万人	単年度計	観光庁の統計データに合わせて暦年値とする	
		実績値	148万人								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		誘客促進施策の効果として、市内の宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため					観光庁の統計データをもとに算出。コロナ禍以前は、平均的に毎年約10万人ずつ増加していたことから、10万人増/年で設定。国内宿泊者数は現状維持を見込む。				
		②目標事項： 市内の年間外国人延べ宿泊者数									
		KPI： 5年後に140万人/年									
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	
		目標値	90万人	100万人	110万人	120万人	130万人	140万人	単年度計	観光庁の統計データに合わせて暦年値とする。	
		実績値	90万人								
		達成度	100.0%								
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
訪日外国人旅行者に対する受入環境整備等の施策の効果として、外国人宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため。					観光庁の統計データをもとに算出。コロナ禍以前は、平均的に毎年約10万人ずつ増加していたことから、10万人増/年で設定						
③目標事項： 市内観光施設の利用者数											
KPI： 5年後に20万人/年											
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考			
目標値	15万人	16万人	17万人	18万人	19万人	20万人	単年度計				
実績値	15万人										
達成度	100.0%										
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
観光案内施設の利用者数の増加が、市域の観光に対する関心の高さやその活性化を示す指標になると考えるため。					りんくうまち処・泉佐野まち処・泉佐野観光情報センターの利用者数の合計値						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】										
	担当課評価										
改善（A）	【次年度における改善の取組など】										
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性課																														
基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生																															
基本的方向	地域資源の高付加価値化																															
具体的施策	②観光による交流人口の拡充																															
事業名	観光アプリ等を活用した着地型商品普及のための地域活性化計画事業																															
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 観光アプリでの情報発信や観光情報サイトの作成及び運営や、市内を巡る観光商品の作成・販売により、国内外からの誘客を図る。																															
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域における観光消費額																														
		KPI： 1年ごとに13.8億円の増加																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>462.1億円</td> <td>475.9億円</td> <td>489.7億円</td> <td>503.5億円</td> <td>517.3億円</td> <td>531.1億円</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>462.1億円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	462.1億円	475.9億円	489.7億円	503.5億円	517.3億円	531.1億円		実績値	462.1億円						達成度	100.0%					
		現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																							
		目標値	462.1億円	475.9億円	489.7億円	503.5億円	517.3億円	531.1億円																								
		実績値	462.1億円																													
		達成度	100.0%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																													
		観光アプリでの情報発信や市内をめぐる観光商品の作成・販売により、観光消費額が増加すると考えられるため。	観光庁の統計調査によると、宿泊者一人当たりの平均観光消費額は23千円。泉佐野市総合計画では、毎年宿泊者数が6万人増加を見込んでおり、これをKPIとして設定する。(23千円×6万人=13.8億円)																													
		②目標事項： 泉佐野市内の観光来訪者数																														
		KPI： 1年毎に2%程度(約2,400人)の増加																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>116万人</td> <td>118万人</td> <td>121万人</td> <td>123万人</td> <td>126万人</td> <td>128万人</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>116万人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	116万人	118万人	121万人	123万人	126万人	128万人		実績値	116万人						達成度	100.0%					
		現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																							
		目標値	116万人	118万人	121万人	123万人	126万人	128万人																								
		実績値	116万人																													
		達成度	100.0%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
観光アプリでの情報発信や市内をめぐる観光商品の作成・販売により、観光消費額が増加すると考えられるため。	地方版総合戦略に基づき算出しているもので、毎年2%程度の増加を見込む。																															
③目標事項： アプリ上での商品販売売上額																																
KPI： 1年毎に前年比125%の増加																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>112,500円</td> <td>140,625円</td> <td>175,781円</td> <td>219,726円</td> <td>274,658円</td> <td>343,322円</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>112,500円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	112,500円	140,625円	175,781円	219,726円	274,658円	343,322円		実績値	112,500円						達成度	100.0%							
現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																									
目標値	112,500円	140,625円	175,781円	219,726円	274,658円	343,322円																										
実績値	112,500円																															
達成度	100.0%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
観光アプリでの情報発信や市内をめぐる観光商品の作成・販売により、観光消費額が増加すると考えられるため。	観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、商品の販売売上額が前年比125%ずつ増加すると設定。																															
④目標事項： レンタサイクルの利用実績額																																
KPI： 1年毎に前年比110%の増加																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>301,411円</td> <td>331,552円</td> <td>364,707円</td> <td>401,177円</td> <td>441,294円</td> <td>485,423円</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>301,411円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	301,411円	331,552円	364,707円	401,177円	441,294円	485,423円		実績値	301,411円						達成度	100.0%							
現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																									
目標値	301,411円	331,552円	364,707円	401,177円	441,294円	485,423円																										
実績値	301,411円																															
達成度	100.0%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
短時間滞在、二次交通の不足という課題を解決し、空き時間を活用した広域的な観光周遊を促す効果的なツールとして、利用実績を把握することで事業効果を計測できると考えるため。	レンタサイクルの利用額は1件あたり少額であるが、着実に増加目標を達成するため前年比110%増加すると設定。																															
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																															
担当課 評価																																
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																															
委員会意見	【評価等に対する意見】																															
委員会 評価																																

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性化課
----------	-----	---------

基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
基本的方向	地域資源の高付加価値化
具体的施策	③ スタートアップ企業誘致による新たな価値の創造
事業名	スタートアップ等の誘致・集積による産業振興事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 本市で活動する際の拠点となるインキュベーション拠点を活用し、クラスター形成に向けた環境を整備する。また、将来的にクラスターの中核となりえるようなスタートアップに対し、市内への定着に向けた誘致をしていくことで、市内におけるスタートアップの集積を拡大させる。スタートアップ企業の誘致を促進し、新しい産業や雇用の場が創出されることで、地域課題の解決を図るもの。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： スタートアップ定着数																														
		KPI： 5年後に12社（毎年2社の集積）																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2社</td> <td>4社</td> <td>6社</td> <td>8社</td> <td>10社</td> <td>12社</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2社</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	2社	4社	6社	8社	10社	12社	累計	実績値	2社						達成度	100.0%					
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																							
		目標値	2社	4社	6社	8社	10社	12社	累計																							
		実績値	2社																													
		達成度	100.0%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																													
		誘致した企業が地域に根付き、継続的に価値を生み出しているかを測る成果指標であり、地域の稼ぐ力向上、付加価値創出型地域経済の実現など事業目的に整合していると考えため。	拠点を活用し続ける等の形で泉佐野市で活動し続けるスタートアップ数を計測する。5年間で10社の集積を目標とする。																													
		②目標事項： 地元事業者とスタートアップとのオープンイノベーションプロジェクト組成数																														
		KPI： 5年後に24件（毎年4件の増）																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>12件</td> <td>16件</td> <td>20件</td> <td>24件</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	4件	8件	12件	16件	20件	24件	累計	実績値	4件						達成度	100.0%					
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																							
		目標値	4件	8件	12件	16件	20件	24件	累計																							
		実績値	4件																													
		達成度	100.0%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
プロジェクト組成数は誘致活動の初期成果を測る入口指標であり、地元事業者との協業の広がりを測定でき、最終成果である定着数を達成するための母数となると考えるため。	定着数の2倍を協業の組成数と設定。																															
③目標事項： 新規雇用者数																																
KPI： 5年後に10人（徐々に増加）																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td rowspan="3">累計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	2人	3人	5人	6人	8人	10人	累計	実績値	2人						達成度	100.0%							
現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																									
目標値	2人	3人	5人	6人	8人	10人	累計																									
実績値	2人																															
達成度	100.0%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
雇用が増加するほど地域の経済循環が拡大するため、地域の稼ぐ力向上を測る成果指標となることと、新規雇用が発生するという事は、地域に根付き、継続的に価値を生み出していると言えるため、誘致の質を評価する指標として有効であると考えため。	雇用者数の増加は、誘致スタートアップが拡大する時間も踏まえて5年、10年といった中長期的な時間軸で効果が発現するものであり、3年間は、「呼び水」としての効果がある。そのため、5～10年後には、本事業から発生した雇用が数十人規模で生まれることを想定している。																															
④目標事項： 地域関連事業者による拠点におけるイベント運営数																																
KPI： 毎年5件（5年間定期的に開催）																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R7年度）</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td rowspan="3">単年度計</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>5件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	5件	5件	5件	5件	5件	5件	単年度計	実績値	5件						達成度	100.0%							
現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																									
目標値	5件	5件	5件	5件	5件	5件	単年度計																									
実績値	5件																															
達成度	100.0%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
整備したインキュベーション拠点を地域関連企業が使用することにより、市内におけるイノベーションの機運を醸成し、市内関連企業によるイノベーションや新規事業創出を促進することも目的の一つであることから、拠点を活用した地域関連事業者のイベント数を、拠点活用の成果指標として計測することが有効であると考えため。	年度当初を除き、2か月に1件定期的に開催することを目標とする。																															
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																															
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																															
委員会意見	【評価等に対する意見】																															

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	ふるさと創生課
----------	-----	---------

基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
基本的方向	地域資源の高付加価値化
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化
事業名	ふるさと応援寄附金事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	ふるさと納税制度を通じて全国の寄附者とのつながりを広げ、地場産品のPRや販売促進、観光誘致を図ることで、地元企業をはじめとする地域の活性化を目指します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： ふるさと応援寄附金寄附件数								
		KPI： 年間1,100,000件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	1,380,000件	1,100,000件	1,100,000件	1,100,000件	1,100,000件	1,100,000件	単年度計	
		実績値	1,380,000件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		毎年度の制度改正により不確定要素が多いものの、これまでの寄附受入件数の実績は安定的な指標として活用可能であるため、過去実績に基づく寄附受入件数をKPI設定の根拠とする。				過去5年間の実績／令和3年度：894,137件、令和4年度：923,581件、令和5年度：1,174,877件、令和6年度：1,130,779件、令和7年度：1,380,000件の平均値				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
基本的方向	技術の「新結合」
具体的施策	⑤AI・デジタル技術等の「新結合」
事業名	キャッシュレスや地域通貨の活用推進
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 官民連携による泉佐野地域ポイント（さのほ）を通じて、地域外への経済流出を防ぐこと、及び新たな地域内経済への流入を増やすことや、地域内経済循環を高めることで、自立した地域経済の活性化を図る。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域内消費額								
		KPI： 5年後に40億円								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	30億円	32億円	34億円	36億円	38億円	40億円	単年度計	
		実績値	30億円							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		地域通貨の経済的価値を端的に示す指標であると考えられるため。また、施策の効果測定にも適していると考えられるため。				過去の伸び率（平均前年比120%）を参考に、第2期までは累計で設計していたものを施策の効果が見えやすいように単年度で確認するように変更。				
		②目標事項： カード会員数								
		KPI： 5年後に13万人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	120,000人	122,000人	124,000人	126,000人	128,000人	130,000人	累計	
		実績値	120,000人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
地域通貨の普及状況、潜在的な利用規模、施策の効果把握できる指標であり、地域通貨の成長と安定運用を支えるものとして位置づけられると考えるため。				会員数の過去の伸び率（平均前年比110%）を参考に、5年後、本市民90%の保有（9万人）と近隣市町の人口約15万人（泉南市5.8万人、阪南市4.7万人、熊取町4.2万人）の25%の保有を目標として各年度で割り戻した数値						
③目標事項： 加盟店数										
KPI： 5年後に800店舗										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値	502店舗	560店舗	620店舗	680店舗	740店舗	800店舗	単年度計			
実績値	502店舗									
達成度	100.0%									
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
加盟店数は制度運営の成果を客観的に評価しやすく、地域通貨の利便性の向上や、地域事業者の参画度を測る上で有効な指標であると考えられるため。				過去の伸び率を参考に、5年後160%となるよう目標に、各年度で割り戻した数値を設定。						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	おもてなし課							
基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ									
基本的方向	企業誘致の促進									
具体的施策	①企業誘致									
事業名	企業誘致奨励金事業									
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】									
	市の発展と雇用の増大を図るなど、市民福祉の向上のため、市内に新たに事業所を建設・設置される方（企業）で、一定条件を満たす場合に奨励金を交付する。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 企業誘致奨励金新規交付企業数								
		KPI： 5年後に5社								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	18社	19社	20社	21社	22社	23社	累計	
		実績値	18社							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		交付企業数が増えることで、事業目的の達成につながるため。				過去10年で9社の増加（年0.9社）傾向となっており、今後の社会経済状況を踏まえて年1社を目標とする。				
		②目標事項： 上記企業の新規交付時における新規雇用者数								
		KPI： 5年後に50人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	1,150人	1,160人	1,170人	1,180人	1,190人	1,200人	累計	
		実績値	1,150人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
新規雇用者数が増えることで、事業目的の達成につながるため。				過去10年で98人の増加（年9.8人）傾向となっており、今後の社会経済状況を踏まえて年10人を目標とする。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							累計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	おもてなし課・まちの活性課
----------	-----	---------------

基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ
基本的方向	企業誘致の促進
具体的施策	①企業誘致
事業名	地場産品創出支援事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	企業・自治体・寄附者をつなぐ「#ふるさと納税3.0」を活用し、企業からの新たな地場産品の提案を基に、ふるさと納税によるクラウドファンディング型プロジェクトを実施する。寄附目標額を達成した場合、寄附金を原資として生産拠点の整備等に係る補助金を交付する。整備された生産拠点で生産された地場産品は、ふるさと納税の返礼品として寄附者に提供し、地域産業の振興と持続的な経済活性化を図る。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地場産品創出支援事業補助金及び中小企業者支援事業補助金を交付した件数								
		KPI： 年間12件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	19件	12件	12件	12件	12件	12件	単年度計	
		実績値	19件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		民間企業の新たな事業展開に伴う投資を対象とするため不確定要素はあるものの、これまでの補助金交付件数の実績は指標として活用可能であることから、過去実績に基づく交付件数をKPI設定の根拠とする。				過去5年間の実績／令和3年度：2件、令和4年度：14件、令和5年度：14件、令和6年度：12件、令和7年度：19件の平均値				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	都市計画課							
基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ									
基本的方向	移住・定住促進の強化									
具体的施策	②移住・定住の促進									
事業名	住宅総合助成事業									
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】									
	○住宅総合助成事業…本市で自ら居住する住宅を建替える場合や、新築住宅を購入し居住する場合に、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。 ○空家バンク制度…本市に定住希望する方に対し、登録条件を満たした空家の情報提供をし当該住宅を購入又は賃貸する場合に、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 住宅総合助成事業による泉佐野ポイントの付与件数								
		KPI： 5年間で1,500件増								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	1,770件	2,070件	2,370件	2,670件	2,970件	3,270件	累計	
		実績値	1,770件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		定住及び本市への移住を促進するほか、市場における中古住宅の流通を促進するとともに、本市の活力に満ちた持続的な発展、及び地域経済の活性化に資することを目的とし、この数値を指標とするもの。				令和3年度から令和7年度の間で新築住宅又は空家バンクに登録された中古住宅を購入し、本市に定住された実績は312件/年、26件/月となっている。したがって、過去5年間の実績値の平均及び令和7年度の実績値見込件数に鑑み、令和8年度からの5年間の目標値を300件/年、25件/月で設定した。				
		②目標事項： 空き家バンクに登録された物件数								
		KPI： 5年間で185件増								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	185件	222件	259件	296件	333件	370件	累計	
実績値	185件									
達成度	100.0%									
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
空家（中古住宅）の利活用を目的とする本制度は、市が空家情報を発信し、売買契約が成立することにより、定住・移住者数の増加に直結することから、当該登録件数を指標とするもの。				泉佐野市空家等対策計画の評価指標で、令和9年度目標値は360件に設定されている。この目標値（360件）と令和3年度の実績値（137件）を差し引いた件数の平均値37件/年（360-137=223、223/6年=37件）を単年度の目標値に設定した。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							累計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	おもてなし課							
基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ									
基本的方向	関係人口の創出・拡大									
具体的施策	②移住・定住の促進									
事業名	東京事務所運営事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	東京事務所の運営・調整（東京を拠点とした自治体間の交流促進、イベント開催等）。イベント内容としては、いずみさの特産品フェア（本市の特産品や日本遺産「日根荘」等のPR）や東京いずみさの会（会員間のネットワーク形成と交流促進）を開催している。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 東京いずみさの会会員数								
		KPI： 5年後に720人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	645人	660人	675人	690人	705人	720人	累計	
		実績値	645人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		会員数の増加により首都圏での本市の認知度アップを図り、ひいては交流人口・関係人口の増加や移住・定住の促進につなげるため。				毎年15人ずつ会員数が増加するように積算				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							累計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							累計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ
基本的方向	移住・定住促進の強化
具体的施策	②移住・定住の促進
事業名	移住・定住促進事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】 移住支援金の支給や、移住者を対象とする奨学金返還助成金の支給など、本市独自施策の実施と、それら施策を市内外へ広く効果的・効率的にPRすることで、本市が住み良い街であることを認識してもらい、若年世帯・子育て世帯を中心に移住先として本市を選択してもらおう。また、市民には本市の魅力を周知徹底することで、定住を促進し、人口減少の鈍化・阻止、人口の維持・増加を図る事業である。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 移住支援金・新規交付決定者数							
		KPI： 新規交付決定者数を毎年度10人ずつ増加させる。							
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	80人	90人	100人	110人	120人	130人	
		実績値	80人						
		達成度	100.0%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠			
		近畿圏以外から本市に転入し、生計中心者が市内就労する世帯を対象とする支援金受給世帯は、本市への移住メリットを実感できる世帯であり、受給者数の増加を目標とすることで、事業効果の目安とできる。				支援金は初回申請を含めて最長5年間受給が可能で、新規申請・交付決定者を毎年度10人ずつ増やすことを目標とする。			
		②目標事項： 奨学金返還支援助成金交付決定件数							
		KPI： 目標値は対象者推計の最大値。母数となる移住者の増加を図る。							
		現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	0人	104人	178人	252人	326人	369人	
		実績値	0人						
		達成度	100.0%						
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠			
転入者で、18歳以下の児童を育て、市内就労する39歳以下の奨学金返還者が支給対象であり、目標値を達成することで移住者の増加、事業効果やPR効果の目安とできる。				令和8年度より実施する新しい施策であり、本事業の支給対象要件である、市外から転入率、39歳以下の子育て世代率、市内就労率、申請可能期間などから最大値を推計した。					
③目標事項： 市公式ホームページ内「移住・定住促進ページ」の閲覧数									
KPI： 5年後にホームページ閲覧数を1,250増加させる。									
現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値	10,000	10,250	10,500	10,750	11,000	11,250			
実績値	10,000								
達成度	100.0%								
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
市公式ホームページ内「移住・定住促進ページ」の閲覧数は、本市への移住について関心がある人からのアクセスであるため、移住につながるPRの認知度の指標となる。				本市移住施策の充実とPRの浸透により、本市の移住定住施策のインターネット検索につながる。ホームページの閲覧を毎年度250アクセスずつ増やしていく。					
評価（C）	【今年度において評価した取組など】								
	担当課評価								
改善（A）	【次年度における改善の取組など】								
委員会意見	【評価等に対する意見】								
	委員会評価								

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課	おもてなし課							
基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ									
基本的方向	関係人口の創出・拡大									
具体的施策	③MICE誘致の推進									
事業名	地方版MICE誘致推進事業									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	国際空港の玄関都市という好立地を活用した地方版MICEの誘致に向け、課題等を抽出し、効果的なMICE誘致に取り組む。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 誘致活動に伴うMICE誘致成功件数								
		KPI： 年間4件								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	4件	4件	4件	4件	4件	4件	単年度計	
		実績値	4件							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		市内でMICEが開催されることで、地域経済の活性化及び都市ブランドの確立につながるため。				R7年度誘致成功件数（4件）と同件数				
		②目標事項： 泉佐野市内でMICE開催時の延べ参加者数								
		KPI： 年間60,000人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	単年度計	
		実績値	60,000人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
人の動きをKPIにすることで、MICEが地域にもたらす実質的な効果を5年間、継続的かつ客観的に把握するため				万博開催期間で、多数のイベントが開催された令和7年度のMICE実績を参考に、年間概ね60,000人規模を維持するように設定した。						
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	おもてなし課																																
基本目標	③ 人や企業の流れを泉佐野へ																																	
基本的方向	関係人口の創出・拡大																																	
具体的施策	③MICE誘致の推進																																	
事業名	eスポーツMICEコンテンツ実証事業																																	
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】																																	
	「地域内外の人々の交流から、市域への人の流れを生み出し、持続可能な地域へ」という将来像を実現するため、広域交通体系が充実しているにも関わらず、通過都市となっている現状において、市域における人々の交流の増加・深化のための糸口となる新たな都市魅力の創造・発信が課題となっています。本事業は、この地域課題に対して、eスポーツを通じて人々に交流の機会を提供するほか、これを通じた人材育成等の取組みによって、交流の増加・深化を図り、上記の将来像に繋げるものです。																																	
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 関係人口(単発の買い物、観光(観戦)以外で本市に関係した人数)																																
		KPI： 5年後に600人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>1,000人</td> <td>1,000人</td> <td>585人</td> <td>590人</td> <td>595人</td> <td>600人</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,000人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	1,000人	1,000人	585人	590人	595人	600人	単年度計		実績値	1,000人						達成度	100.0%					
			現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																								
		目標値	1,000人	1,000人	585人	590人	595人	600人	単年度計																									
		実績値	1,000人																															
		達成度	100.0%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		本事業は、人の交流に着目して事業を進めてきており、目指す将来像に繋げるためには関係人口の創出・深化が鍵です。そのため、この事業を通じた関係人口の増加数を把握することで事業目的に従った直接的な効果を計測できます。	市外から参加者を募集して実施する事業について、これまでの実績も踏まえて目標値を設定しました。なお、令和8年度まで国庫補助事業ですが、令和9年度以降は市単独事業になるため、事業費を見直し、現実的な目標値を設定しました。																															
		②目標事項： 交流人口(当該事業に関して、本市を訪問(単発の観戦(オンラインを含む))を含む)した人数)																																
		KPI： 5年後に38,000人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>600,000人</td> <td>600,000人</td> <td>35,000人</td> <td>36,000人</td> <td>37,000人</td> <td>38,000人</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>600,000人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	600,000人	600,000人	35,000人	36,000人	37,000人	38,000人	単年度計		実績値	600,000人						達成度	100.0%					
	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																										
目標値	600,000人	600,000人	35,000人	36,000人	37,000人	38,000人	単年度計																											
実績値	600,000人																																	
達成度	100.0%																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
KPI①の関係人口は、交流人口の上位に位置し、交流人口の増加が関係人口の増加の端緒となることから、本事業の目的に沿った効果を計測できます。	これまで行われているeスポーツのイベントの観戦数等を参考に、KPI②の大会・イベントの開催数から積算しました。なお、令和8年度まで国庫補助事業ですが、令和9年度以降は市単独事業になるため、事業費を見直し、現実的な目標値を設定しました。																																	
③目標事項： eスポーツ大会・イベントの開催数																																		
KPI： 25回/年																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (R7年度)</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> <th>R12年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>50回</td> <td>50回</td> <td>25回</td> <td>25回</td> <td>25回</td> <td>25回</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>50回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考	目標値	50回	50回	25回	25回	25回	25回	単年度計		実績値	50回						達成度	100.0%							
	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考																										
目標値	50回	50回	25回	25回	25回	25回	単年度計																											
実績値	50回																																	
達成度	100.0%																																	
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
本事業の実施にて、KPI②に掲げる交流人口を増加させるためには、新たなコンテンツの実施回数(eスポーツ大会・イベント)と相関関係があるため、その開催数で効果を計測することが出来ます。	これまでの実績を参考に、定期的に大会・イベントを開催するという目標を掲げました。なお、令和8年度まで国庫補助事業ですが、令和9年度以降は市単独事業になるため、事業費を見直し、現実的な目標値を設定しました。																																	
評価（C）	【今年度において評価した取組など】																																	
	担当課 評価																																	
改善（A）	【次年度における改善の取組など】																																	
委員会意見	【評価等に対する意見】																																	
	委員会 評価																																	

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分		担当課		農林水産課						
基本目標	④ 多様な連携									
基本的方向	広域連携の推進									
具体的施策	①広域連携									
事業名	泉佐野産（もん）普及促進事業【再掲】									
事業概要	【最終予算額： 円】			【決算額： 円】						
	「特産品相互取扱協定」締結自治体（全国47都道府県・55自治体）との間で、相互の農業祭、物産フェア等のイベントに出展し、特産品のPR販売や自治体間交流を行い、地場産品の普及促進を図る。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 「特産品相互取扱協定」締結自治体開催イベントへの出展								
		KPI： 協定締結自治体主催のイベント参加数								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	42	42	42	42	42	42	単年度計	
		実績値	42							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		コロナ禍が明け、本協定締結自治体は、通年通りイベントを開催している状況で、本市からの照会によりイベント出展案内が来るのは、R7年度実績数がほぼ最大と考えられるため、R7年度実績数を目標値とした。				本協定締結自治体と継続的な連携に努め、イベント出展数の現状数維持を図る。				
		②目標事項：								
		KPI：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	④ 多様な連携
基本的方向	広域連携の推進
具体的施策	①広域連携
事業名	「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	NPO法人地域活性化支援センター「恋人の聖地」プロジェクトに参画する14市町村の広域連携により、関係人口拡大を目指し、(1)ウェブ上に市町村共同の「仮想シティ」(バーチャルシティ)の開設、(2)恋人の聖地の魅力増進のためのプラットフォームの展開(3)恋人の聖地観光誘客の共同プロモーションを実施し、各地域に継続的な事業実施・自走に不可欠な中間支援組織の育成に寄与する。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 観光入込数								
		KPI： 5年後に400万人								
			現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	300万人	320万人	340万人	360万人	380万人	400万人	単年度計	
		実績値	300万人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		滞在エリア・定住エリアとして選出される市町村選考において、観光入込数は取組成果に相関する重要な指標となるため。				連携自治体における観光入込数の合計値により算出				
		②目標事項： 仮想市民登録者数								
		KPI： 5年後に7,700人								
			現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	4,200人	4,900人	5,600人	6,300人	7,000人	7,700人	累計	
		実績値	4,200人							
		達成度	100.0%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		仮想市民登録者数関係人口の創出を図る入口指標となり、また、継続的な事業実施により費用対効果を図ることができるアウトカム指標となるため。				プラットフォームサイトである「恋人の聖地CITY」において市民登録された合計値により算出				
		③目標事項： 地方志向者の魅力度数								
		KPI： 5年後も3%を維持								
	現状値 (R7年度)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値	3%	3%	3%	3%	3%	3%	単年度計			
実績値	3%									
達成度	100.0%									
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
継続的調査により算出した魅力度数は、関係人口の拡大等地域事業の活性化や問題の解決に繋がる直接的指標となるため。				プラットフォームサイトでのアンケート調査により算出						
評価(C)	【今年度において評価した取組など】									
	担当課評価									
改善(A)	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

泉佐野市地方創生総合戦略（第3期 泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
PDCAサイクル 進捗管理シート

令和 8 年度分	担当課	自治振興課
----------	-----	-------

基本目標	④ 多様な連携
基本的方向	広域連携の推進
具体的施策	①広域連携
事業名	国際交流推進事業
事業概要	【最終予算額： 円】 【決算額： 円】
	「国際都市宣言」の理念に基づき、海外友好都市との交流を推進するとともに、市民の国際化の促進を図り、あわせてグローバル人材の育成を支援する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 友好都市交流における海外渡航・受入者数								
		KPI： 5年後に428人								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値	378人	388人	398人	408人	418人	428人	単年度計	
		実績値	378人							
		達成度	100%							
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		交流人数の増加が、友好都市交流の促進を示す指標になると考えられるため				友好提携都市の増加に伴い、毎年、海外渡航・受入者数について、それぞれ1回5人の増加を目標値として設定する。				
		②目標事項：								
			現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考
		目標値							単年度計	
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		③目標事項：								
KPI：										
	現状値（R7年度）	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	指標の単年・累計の別	備考		
目標値							単年度計			
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【今年度において評価した取組など】									
	担当課 評価									
改善（A）	【次年度における改善の取組など】									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。